

## 《審判長から、監督・選手の皆さんへ競技上の注意》

- (1) 本大会は2023年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則にもとづいて行う。
- (2) サブプール（短水路）1～6レーンを使用し競技を行う。水深は1.4m
- (3) 本大会は全自動審判装置を使用する。バックアップは半自動審判装置を使用する。  
ゴールタッチの際はタッチ板の有効面をしっかりと押し込むようにタッチすること
- (4) スタート前の着水はレーンの水で行わず、準備した容器の水を利用すること。
- (5) ゴール後は、自レーンからの退水を原則とするが、横からの退水を審判長および競技役員が許可した場合は横から退水することができる。  
※タッチ板の誤作動防止のため、20秒以内に自レーンから退水すること。
- (6) 招集は、概ね、5組前（または、10分前）から招集所で行う。競技の進行に留意しながら招集に遅れないようにすること。（招集所が密集にならないように注意すること）  
ADカードは常に携帯し、招集所に来る際にもADカードを首から下げておくこと
- (7) 水着のFINAマークが剥離している等見えづらい場合は、招集所で水着の型番を確認するので、申請用紙に必要事項を記入の上、招集所に持参すること。
- (8) リレー種目のオーダー用紙は、選手番号等必要事項を記入し、競技開始1時間前までに、記録室に提出すること。プロ訂正・棄権についても記録室に提出すること。
- (9) 選手紹介の通告を行う。
- (10) 速報は1階ロビー、及び保護者用としてガラス面に掲示する。
- (11) テーピングを行っての競技出場は原則認めない。緊急の場合のみ審判長に申し出て許可を得ること。また、ピアス、ネックレス、ミサンガやマニキュア、ペディキュア等をして出場することを禁止する。
- (12) 競技に関する抗議や問い合わせは選手が直接行うことができない。所属チームの責任者を通して、競泳競技規則に則って行うこと。
- (13) アマチュア規定に反する商標入り水着・ユニフォーム等の着用についての注意事項は、プログラムに記載してあるので遵守すること

- (14) 背泳ぎ競技、およびメドレーリレー競技において、バックストロークレッジを使用する
- (15) 8：45～9：30 スタートダッシュ専用レーンを順次増やしていく (※なお今大会は公式スタート練習を行わない)。
- (16) アップ・ダウンレーンでの飛び込みは厳禁とする。必ず足から入水すること。